

科目名	教育相談			科目コード	5007
開講学科	教職課程	単位数	2	形態	講義
教員名	山田佳代子				
授業の目的及びテーマ					
学校における教育相談は、簡単に言えば、児童や生徒への援助過程であり、その中心となるのは、カウンセリングである。学校教育現場においては、すべての教師が行う教育活動の一環としてとらえられている。その中で、教育相談の基本的な知識や技法を習得し、また、教育相談を総合的にとらえていくことを目指す。					
授業概要					
学校現場における今日的課題を取り上げながら、教育相談の理論と方法について、理解を深めるようにする。その中心となるのは、カウンセリングの基礎理論と技法であり、実践に役立つように学びを導く。					
授業計画					
第 1 回：教育相談とは何か 教育相談の定義、種類、課題などについて理解する。					
第 2 回：乳児期・幼児期における子どもの問題Ⅰ 発達とは何か、乳児期の発達と気になる行動について学ぶ。					
第 3 回：乳児期・幼児期における子どもの問題Ⅱ 幼児期の発達と気になる行動及び乳幼児期をめぐる最近の話題について学ぶ。					
第 4 回：小学校における子どもの問題 小学生の発達と発達課題、気になる行動、不適応行動などについて学ぶ。					
第 5 回：中学校・高等学校における子どもの問題 中学生・高校生の発達と発達課題、気になる行動、問題行動などについて学ぶ。					
第 6 回：発達障害の理解と支援 発達障害とは何か、LD、ADHD、自閉症・アスペルガー症候群などについて理解を深める。					
第 7 回：精神疾患の理解と支援 精神疾患について学習し、気分障害、統合失調症、パニック障害、摂食障害の理解と支援について学ぶ。					
第 8 回：教育相談の理論 理論学習の意義について学び、カウンセリングの 6 つの主要理論について理解する。					
第 9 回：教育相談の技法 教育相談の技法について学ぶ。					
第 10 回：学級運営に活かす教育相談 「教育相談」の視点からの学級運営、「教育相談的なものの見方や考え方・姿勢」、「個および学級集団へのアプローチ」について理解する。					
第 11 回：学校で使えるアセスメント 子どものパーソナリティを理解する方法について（行動観察法・面接法・心理検査法）を理解する。					
第 12 回：保護者への理解と支援 学級通信や学年便り、その他、家庭訪問、行事などを通して、保護者との連携・関わりを考える。					
第 13 回：校内および関連機関との連携 校内における連携、関係機関との連携について学ぶ。					
第 14 回：スクールカウンセラーの活用 スクールカウンセラーとは何か、また、成果と課題について学習する。					
第 15 回：課題解説をよく読み課題に取り組む。					
テキスト	「改訂版 教師のたまごのための教育相談」 金沢信彦、安齊順子編著（北樹出版）			参考文献	
評価方法：					
課題提出 2 課題及び最終課題（論文）					